

氏名	岩崎良章		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	博甲第857号		
学位授与の日付	平成2年3月31日		
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学(一)専攻 (学位規則第5条第1項該当)		
学位論文題目	Changes of pre-S1 and pre-S2 antigens in sera of patients with hepatitis B virus infection (B型肝炎ウイルス感染患者血清中の pre-S1 および pre-S2 抗原の変化)		
論文審査委員	教授 木村郁郎	教授 太田善介	教授 新居志郎

### 学位論文内容の要旨

B型肝炎ウイルス (HBV) の pre-S1 抗原, pre-S2 抗原を, モノクローナル抗体を用いた enzyme-linked immunosorbent assay (ELISA) 法で測定し, あわせてポリマー化アルブミンレセプター (pAR) 活性, HBs 抗原, HBe 抗原・抗体, HBV-DNA, DNA-P を測定し, B型肝炎の予後を推測する目的で, 血清中におけるこれら HBV-マーカーの臨床的意義について検討した。

その結果, pre-S1 抗原のほうが, pre-S2 抗原より HBV-DNA と良い相関を示した。また, 血清トランスアミナーゼ (ALT) の急性増悪後, HBe 抗原が陰性化し ALT も正常化した後, 1年間経過観察できた症例 (30例) において, 1年以内に HBe 抗原が再出現し, ALT 異常を来した例 (再燃群) は 24例 (80%) であり, HBe 抗原陰性のままで ALT も正常のまま持続した例 (正常化群) は 6例 (20%) のみであった。これらの症例の急性増悪前後における, 血清中の HBV-マーカーについてみると, HBV-DNA, DNA-P および pre-S1 抗原は, 急性増悪後, 両群とも急速に低下し差を認めなかったが, pre-S2 抗原および pAR 活性は, 再燃群に比べ正常化群でより有意な低下を認めた。

以上より, HBV の血清 pre-S1 抗原は, pre-S2 抗原に比べて HBV-DNA とより強く相関するが, B型肝炎の予後の推測のためには, pre-S2 抗原や pAR 活性のほうが, pre-S1 抗原, HBV-DNA, DNA-P, HBe 抗原より臨床的に有用であることが示唆された。

なお, 本論文は共著論文であり, 共著者の協力を得て完成したものである。

## 論文審査の結果の要旨

本研究はB型肝炎ウイルス感染患者血清中の pre-S<sub>1</sub> および pre-S<sub>2</sub> 抗原の変化について臨床的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかった血清中の pre-S 抗原の意義特に pre-S<sub>1</sub> と pre-S<sub>2</sub> 抗原の差異について検討した結果、pre-S<sub>2</sub> 抗原は pAR 活性とともに再燃群では低下を認めにくく、B型肝炎の予後に対して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。